

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 23 日

事務事業名		民間交通指導員活動事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040301000703
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	030401
政策体系	総合計画の施策名	0403	交通安全対策の推進			主要事業	対象外	グループ	生活安全課
	政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり			市長マニフェスト	対象外		
	施策名	03	交通安全対策の推進			未来PJ事業	対象外	生活安全	
	基本事業名	01	交通安全意識の向上			合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	11	01	01	交通安全対策事業		
法令根拠		桜川市民間交通指導員設置運営規則				単年度繰返し (平成17年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市民が安心して安全に過ごせるまちづくりのため、民間交通指導員を委嘱し、警察、交通安全関係団体と緊密に連携し、交通安全保持のため必要な指導及び交通安全思想の普及啓発するために活動する。 ・各季街頭立哨 (春・夏・高齢者・秋・年末) ・交通安全の日立哨 (毎月1日) ・高齢者の交通事故ゼロの日 (毎月15日) ・その他 (緊急対策に係る事業)	交通安全協会と連絡調整、各季立哨の割り振り、立哨巡回、制服・備品の管理、報酬 (2-1-11-08 報償費)、交通指導員研修の開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
交通安全協会と連絡調整、各季立哨の割り振り、立哨巡回、制服・備品の管理、報酬 (2-1-11-08 報償費)、交通指導員研修の開催	立哨数	回	41.00	28.00	35.00	35.00	35.00
	研修数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市民 民間交通指導員	人口	人	42,444.00	42,000.00	41,652.00	41,256.00	0.00
	交通指導員	人	83.00	80.00	80.00	80.00	80.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
民間交通指導員による歩行者、道路利用者へ指導・啓発を活発に行い交通事故防止抑止を図る	立哨人数 (延べ人数)	人	1,060.00	659.00	700.00	700.00	0.00
	交通事故件数※1/1~12/31	件	126.00	134.00	125.00	120.00	115.00
	交通事故死者数※1/1~12/31	人	2.00	3.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	2,060	1,854	0	2,063	0
	事業費計 (A)	千円	2,060	1,854	0	2,063	0	
量 人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	0.00人	
	述べ業務時間	時間	138.30	103.50	110.00	100.00	0.00	
	人件費計 (B)	千円	401	300	319	290	0	
	トータルコスト (A)+(B)	千円	2,461	2,154	319	2,353	0	

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)		29年度事業費 予算 (千円)			
	01 報酬	1,695				
	18 備品購入費	159				
		合計	1,854		合計	0

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する				
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	民間交通指導員活動事業	事務事業No.	40301000703	所属課	生活安全課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
合併以前は、交通安全協会役員、市で委嘱する交通指導員（非常勤公務員）と分かれて活動されており、平成17年10月1日桜川市民間交通指導員設置運営規則の施行し全員（交通指導員・交通安全協会役員）が、委嘱と同時に交通安全協会役員として任命され、交通安全保持のため必要な指導及び交通安全思想の普及に努めるようになった。現在合併後より比へ指導員の人数が減りつつある。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
定年制を設けてほしい。 指導員から地区、学区などの適正配置について意見があった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	県内1多くの民間交通指導員を委嘱しており、今年度は立哨回数を増やし、幅広く交通安全を呼び掛けることが出来るが、コスト削減していく中で、交通指導員の定数問題や報酬の見直し又は交通指導員制服を一新しより安価なものにするか、また、交通安全協会役員との分離することも検討する必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 交通事故を減らすため、定期的立哨等を行ない道路利用者の交通安全に寄与するものであるため、政策体系に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 広く市内道路上で、歩行者から道路利用者まで立哨指導するため妥当である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 交通事故の多い交差点や危険と思われる場所での立哨へ変更していければ、交通事故防止の効果が上がると思われる。しかし車を止めて置く場所の確保も必要である。
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県内で民間交通指導員を委嘱している市町村は少ない。しかし交通安全協会との結びつきもあり廃止休止の影響は大きいと思われる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 交通安全母の会運営事業・自主防犯活動組織育成事業 制服を着て立哨しているため、主に道路利用者に啓発しているため統廃合の余地はない。通学路の立哨（春、毎月1日）もあり交通安全母の会や防犯ボランティア（立哨）と連携することはできる。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 県内1多くの交通指導員を委嘱、定数や区割り等の意見もあるため、定数や報酬の見直しを行えば削減できるが、人数を少なくしてしまうと細かく立哨が出来なくなってしまう。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の道路利用者、通学路など幅広く立哨活動しているため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>